

令和3年7月15日



【子どもを大事にするとは】 7月1・2日に6年生が修学旅行へ。

そして、7月14・15日には5年生が海の学習に行っています。

本校では前日に荷物検査をします。どちらの行事も大きなバックと小さなナップザックが荷物になります。それを行事の前日に学校へ持ってきて、荷物の確認後、学校へ置いておきます。

13日は5年生の荷物検査の日でした。いつものように朝、低学年の昇降口に立っていると、大きな荷物を背負った5年生が歩いてきました。

私「よく、(大きな荷物)持ってきたねえ」

A子さん「なんか、まわりを見たら5年生誰もいなくて心配になっちゃった」

本校に限らずですが、このような時に子どもが車で荷物を運んでもらい、車から降りても荷物を持たないで昇降口まで保護者に持って行ってもらう、そんな姿を見かけることがあります(何かの事情がある子もいるかもしれませんが)。そのような中、自分で荷物を運んできたA子さん。その直向きさ、遅しさに心揺れました。そして、思わず、(コロナ禍ではありますが)その子の頭をめちゃくちゃなで、「素晴らしい。たくましいぞ」と声をかけました。

お恥ずかしながら学校でも、「あれ?」と思うような場面があります。例えば、花を植えてあった鉢を洗って片付ける際に、先頭にいた先生が全ての子ども鉢を持ち、後ろから来た子どもたちは手ぶらで歩く……。

「子どもたちのために」とは

「子どもたちを大事にする」とは なんなのでしょうか?

大きな荷物を不安になりながらも自分自身で運んできたA子さん。その姿に「私自身、子どものためにをはき違えてはいないだろうか」そんな問いが頭に浮かびました。



この前、B君と少し外を歩く機会がありました。

その時のB君の一言

「風が見えるね」

この写真でわかるでしょうか?風が吹く様が稲の動きに見られます。それを見てのB君の一言。なんともステキな言葉と一緒に、しばし二人で風を見つめていました。豊かな時間でありました。

1学期73日間、本当にお世話になりました。7月22日～8月23日まで夏休みになります。「校長のつぶやき」もしばしお休みをさせていただき、2学期に向けて英気を養いたいと思います。2学期も不定期な掲載となりますがお付き合いいただけましたら幸いです。“みなさまも「てまきうし」を守って楽しい夏休みを”(*^*)v